

## はじめに

宮城県では、総合的な健康づくりの指針として「みやぎ21健康プラン」を作成し、健康寿命の延伸をめざして、栄養、運動、休養等の県民の健康づくりをすすめています。

ところが、本県では、運動不足や不適切な食生活による肥満者、メタボリックシンドローム該当者や予備群の割合が全国的にも非常に高いことがわかりました。さらに、ストレス等による多量飲酒や喫煙等、生活習慣病の重症化につながる課題も多く見られます。

そこで、平成21年度から、社会全体が個々人の健康づくりを応援する環境整備の一環として、地域に密着した商店街と保健所の連携事業を試行的に行いました。

これは、県内7圏域からモデル商店街を選択し、管轄する保健所が健康づくりの視点から支援するという事業ですが、お引き受けいただいた商店街の関係者の皆様には、積極的・主体的に事業にご参画いただき、“健康とはどういうことか”“消費者の健康のために何ができるか”等を真剣にお考えいただきました。

そして、イベントの開催や情報発信等、健康づくりに貢献できる企画・アイデアを次々に実現していただき、地域コミュニティによる底力を発揮していただくことができましたので、その一部をご紹介します。

「コミュニティエンパワーメント」「健康なまちづくり」をキーワードに、楽しく、そして生活に密着した、市民目線での健康づくりの実践例を、今後のポピュレーションアプローチの参考にご活用いただければ幸いです。

「住民に身近な商店街が健康づくりの拠点になればいいな」という発想から取り組んだ事業でしたが、日頃、保健所や市町村の保健事業とは接点の少ない住民の方々と出会える機会をもつことができたことは、大変意義のあることでした。

この成果を、今後の県民運動の展開に生かし、「みやぎ21健康プラン」を推進して参りたいと思います。

最後になりましたが、この事業に御協力いただきました商工会、商店街振興組合、商店主、関係者の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

平成23年2月

宮城県保健福祉部健康推進課長